

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	エフビー介護サービス株式会社	代表者	柳澤 美穂	法人・事業所の特徴	広い敷地とゆったりした駐車スペースがあり、近くには公園と恵まれた環境の中に施設があります。小学校や支所・病院も近くにあり、電鉄柳原駅から徒歩5分と環境の整った場所にあります。ご利用者様の要望に応じて「通い」「泊り」「訪問看護」「訪問介護」を同じ事業所で受けることができ、医療ニーズの高い方も安心してご利用いただけます。また住み慣れた地域で暮らし続けていただけるよう、職員一同真心を込めてお手伝いさせていただきます。
事業所名	看護小規模多機能あつたかほーむ柳原	管理者	泉 ムツ子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	0人	2人	0人	0人	1人	0人	0人	人	4人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	日頃のかかわりを深め、情報共有しながら改善に取り組む。	毎年課題としている部分が改善に至っていないが利用者・家族・地域へと視野が広がり、自分の取り組まなければいけない点が見えている。	仕事が忙しい中で大変だと思うし、詳しい内容についてまでは解らない。	会議の時間を多く取りみんなで意見を出し合えるようにしたい。
B. 事業所のしつらえ・環境	感染対策を取りつつ、今の状態が維持できるようにします。	家族の面会・友人・民生委員や近所の方も面会に見えている。近所の方に挨拶出来るタイミングがあれば挨拶をするようにした。	用事がないと施設には来ないので中のことまでよくわからない。	沢山の人数の受け入れはできないが施設見学や相談はいつでも可です。
C. 事業所と地域のかかわり	地域の人と共同した関りをどのように持てるか考える。	新聞をいただいたり、小学生や老人会の方の施設見学・慰問があった。	こんなことで役に立って思っていなかった。捨てる前に施設で使ってもらえるものがあったら使ってもらいたい。	近所の方が困っていることや施設が困っていることの情報発信をしてお互い出来るところからお手伝いをしていく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取り組み	今までの暮らしやなじみの関係について情報共有していく。	外出レクで臥竜公園に行きおでんを食べた。利用者様は元気なころはよく来たねと懐かしそうだった。これからもいろんな場所に出かけたい	どんど焼きや支所に行く。えきにいくなど自分の暮らしに密着している場所に行ってみる。地区の文化祭にも行ってみたい。	利用者様の行ってみたいところに行く。
E. 運営推進会議を活かした取り組み	地域の現状と施設の情報を報告。近隣からご利用されている方が多いため情報交換ができています。	地域の話や他の事業所の話在市や包括の方からお聞きした。	近くの方が利用しているので状況が聞けるのはいいと思う。	職員が会議に参加できていない。参加するように準備する。
F. 事業所の防災・災害対策	災害が起きた時一時避難場所として施設を利用していただくことはできるのでこれからも連携していく。	地域の消防訓練には参加できていない。災害訓練：年2回・避難訓練：年2回行っている。	ここでどんな訓練をしているのかわからない。寝たきりの人もいるので大変だと思う。	災害や火災が起こったとき、声をかけに行く。手伝えることがあれば手伝える。場所の提供・食事の提供が出来る。